

2月になっちゃってました。

昨年10月だったかな？

この欄で平成28年1月31日に杉並区の高井戸地域区民センター体育室にて第32回日本障がい者ダーツ選手権を行います とお知らせしました。

直前には大雪の予報がありましたが、当日は天候も回復し、過去32回の実施経験がある公益社団法人日本ダーツ協会主催・東京都・杉並区・杉並区教育委員会・杉並区社会福祉協議会のご後援を頂いた大会を無事開催することができました。

私たちプロップKのメンバーはこの第32回大会の参加によって障がい者のレクリエーションスポーツとしてのダーツ普及という当初の目的以上に様々な気付きや学び、そして経験を積むことができました。

この大会は約1年前から準備が始まりました。準備中には参加者の立場からの意見が重要とされ、杉並区障害者団体連合会のご提案や体験会参加者のお一人お一人からの感想を基に今まで以上に参加者視点を意識して行う事になりました。しかしながら、それはたやすい事ばかりではなく、具現化する為にプログラムの見直しやボランティア支援者の確保もこれまで以上に必要となっていきました。



「参加者への会場案内は？」「選手個々への情報伝達の強化が必要」
「選手の安全確保は？メンタルな部分の支援もいるよ」と次々と出てくる課題
それを一つ一つクリアしていく・めんどろな作業をして・いませんでした！！
と言うのは関わる誰もがそれを「めんどろな事」とは思わなかったからです。
むしろ・楽しんじゃってるくらいでした。



「なるほどそうだよな・じゃこうしたらどうよ？」「そういうの上手い子 知ってる！
連絡してみるね」「私、前日と半日ならこれです。それでもいいですか？」

集まってくれたボランティアさんたちは老いも若きも皆さんとってもポジティブ
人が人を呼び、ドンドン膨れ上がり96名の参加者に90名程のボランティアさん
車いすに寄り添い話を聞く人 3人集まると二人の視線が選手を見て、又通訳さんを二人が見つめる。そして3人で見つめあった後に3人の笑顔のハイタッチ
午後フツと体育室内を見まわした時感じたのはスポーツ大会特有の熱気に加えて、室内を包むとても柔らかく、暖かな空気でした。

直前不安のあまり・大雪になってしまっってやむ負えず中止なんてなってしまうのかな？と
ちょっとでも思った私が・恥ずかしい！

改めてこの大会の開催を続けているダーツ協会様や支援団体並びにボランティアの皆さんに心から御礼申し上げます。とっても楽しかったです。

その楽しさを皆様にもご体験頂けるフェイスブック。一度みてください。

<https://www.facebook.com/nihondartskyoukai/>